

## 4年前期ゼミ（高山） 試作・実験計画書

本用紙は5月31日（木）のゼミ開始時までにPDF等で各自のブログに掲載してください。

試作・実験の記載内容は長くなってもいいので詳細に書いてください。必要があれば記入欄やページを増やして下さい。

氏名	河崎勇斗
----	------

全て記入してください。「未定」という記述は不可とします。

1. 改めて研究テーマのタイトルと概要を簡潔に教えてください。テーマが変わった人はその旨も記載してください。

タイトル

スマートフォンのWEBブラウザを活用したリアルイベントにおける体験の拡張

概要

スマートフォンのWEBブラウザ上で各種センサやwebsocket通信を活用することで、リアルイベントにおける体験の拡張を目指す。

2. 上記のテーマにおいて、何を目的として試作・実験を行う必要がありますか？ 該当するもの全てに○をつけてください。

(○) 自身が掲げるテーマにおいて、予想通りの効果が得られるかどうか確かめるため

(○) 技術的に解決すべき問題を早期に解消し、本制作が実現可能なものかどうか確認するため

( ) 12月の成果物提出までに完成できる内容かどうか、スケジュールなどを予測するためのテスト制作

( ) その他 具体的に記入→( )

3. どのような試作・実験を行うのか詳細を具体的に記述してください。必要に応じて図表を含めることを推奨します。

iOS標準のARKitを活用した場合の屋内測位の精度、及び複数の端末の同期について。

→加速度センサを用いた屋内測位技術の精度がどれほどなのか。

また、複数端末を同期する場合にマシンに要求される計算コストがどれほどなのか。

WebSocket通信を用いたブラウザ・演出用ツール間の通信システムの確立。

→今回の研究の根幹となる技術。

現時点ではブラウザ・サーバー間の通信技術は習得しているが、サーバーからローカルマシンへの接続が上手くいっていない。

リアルイベントにおける現在の演出の分析

→現段階で存在しているコンテンツに対する分析がまだ甘いと感じているので、現時点で存在しているコンテンツを分析する。GW時に体験しようと考えていたものをまだ体験できていないので、まずはそこから。

4. 上記を調査して、7月のテーマ発表までにどのような成果が出ると予測されますか？

技術的課題の解決。

どのような体験を提供すべきかという指針

5. 現時点で考え得る、卒研の最終成果物の形式を説明してください。

体験型インストールーション及びWEBアプリケーション

実際に歩きまわって体験出来る形にしたい。

6. 現時点で考え得る、ゼミ展の展示内容を説明してください。

WEBアプリケーションのデモ及び小さな体験型インストールーション。

オブジェクト1つ置くくらいの規模感を想定。